

## 県内景況情報

4月期

## 製造業

## 〈食料品〉

## 〔乳製造業〕

円安によるエネルギーコストや石化製品を使用する包材の高騰は、製造コストを圧迫、それに加えて酪農生産者の廃業による原料乳不足を受けて、本年4月から製品価格の値上げに踏み切った。今後、円滑に価格転嫁ができるか、消費が減退しないかが懸念事項。

## 〔漬物製造業〕

組合員企業の業績は、二極化が顕著になりつつある。

## 〔パン製造業〕

若干の売上増はあるが、原材料(小麦・油脂等)価格の値上げが止まらず収益面の改善は見られない。

## 〈木材・木製品〉

## 〔木材・木製品製造業〕

新年度に入ったが、引き続き荷動きは低調。平均単価も少しずつ低下の傾向、逆に製品在庫は増加。梅雨も間近で、しばらくはこの現状が続く見込み。

## 〔木材・木製品製造業〕

依然として円安による影響が大きく、経営が厳しい企業が多い。

## 〈鉄鋼・金属〉

## 〔鋳物・鋳鉄〕

組合員間で二極化が進行。2～3ヶ月分の受注を抱え、新規設備投資も視野に入れている企業がいる反面、40%近い受注減の企業もある。得意先分野の違いが顕著に出ている。

## 〈一般機器〉

## 〔一般機械器具製造業〕

生産稼働率を表す重要指標の一つである電気使用量は、前年同月比103.6% (前々年同月比110.1%) となっている。

## 〈電気機器〉

## 〔電気機械器具製造業〕

4月の売上は、年度末増産の反動で前月比としては減少したものの、前年同月比では増加。産業用ロボットの出荷は、依然国内外共に好調。来月以降の増産を期待。

## 〔電気機械器具製造業〕

モノの動きは鈍い。5月以降もこの状態が続くのかは不透明。

## 非製造業

## 〈卸売業〉

## 〔紙製品卸売業〕

国内製紙メーカーは4月に入り生産調整実施。(一部メーカーは、設備点検のため機械の運転休止(休転)を行っている。)古紙の仕入れは、3月～4月は順調に推移。また、輸出市況は、前年と比較して高値推移の傾向。

## 〈小売業〉

## 〔食肉小売業〕

円安により、輸入食肉や家畜飼料(穀物)等の価格が高騰、川上から川下まで値上げ模様で、需要が弱含みとなっている。

## 〔燃料小売業〕

業況は、昨年4月は消費税増税により、やや反動減となったが、今年は原油安の影響でガソリン価格が130円/ℓ前後と値下げの方向となり、数量的には前年比二桁の伸びとなった。

## 〈商店街〉

## 〔北九州市〕

小倉中央商業連合会では、4月28日～30日にかけて「小倉にぎわい商品券」を販売、2億6千万円を販売した。

## 〈サービス業〉

## 〔宿泊業〕

インバウンドでの外国人客受入は都市圏ホテルに集中、郡部地方の観光施設はまだみだである。

## 〈建設業〉

## 〔総合工事業〕

昨年同月と工事量に変化はないが、受注単価はやや回復。夏場以降は工事量が増加し、忙しくなると予想。組合員企業では、溶接ロボット、クレーンなどの設備投資(新規購入・買い替え)が活発化している。

## 〔総合工事業〕

技術者が不足しているうえに、資材価格が高騰し高止まり。

## 〈運送業〉

## 〔道路貨物運送業〕

先月に引き続き、石油価格の値下げで前年同月比の組合員の平均売上、収益ともに単月では好転。ただし、石油価格には不安定要因があり、今後予断は許されない状況。

# 福岡県の業種別D・I値の変化

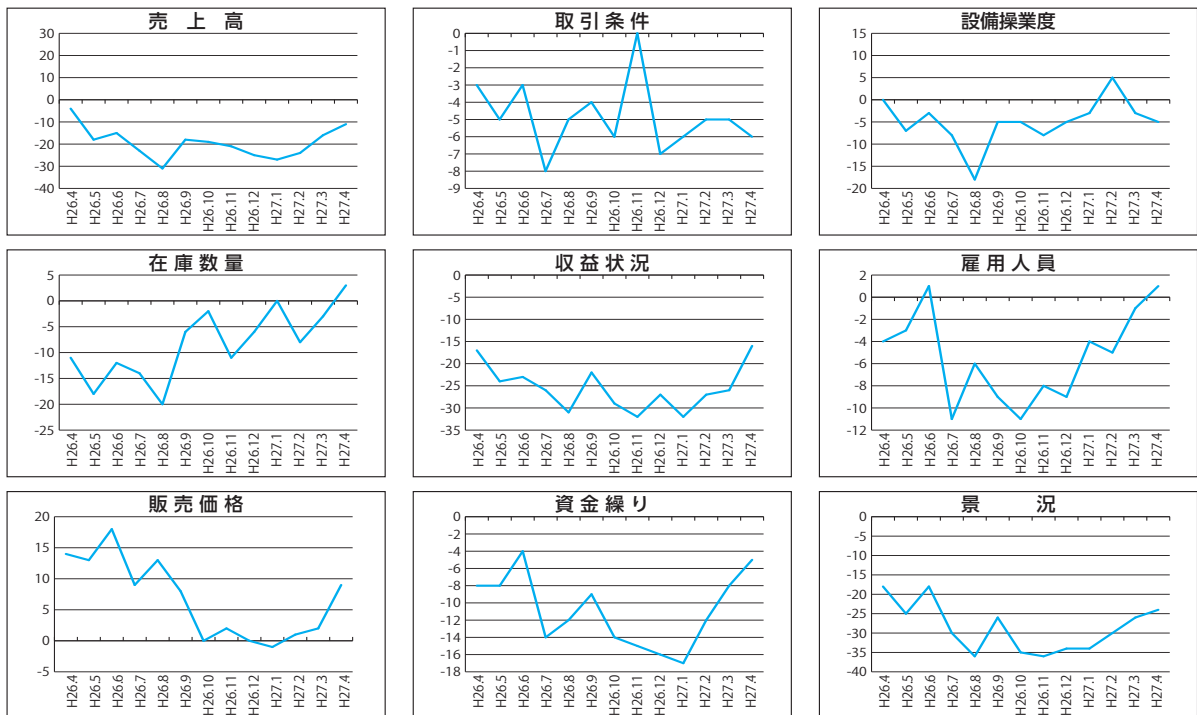
(福岡県中小企業団体中央会調査)

業種	項目	前年同月比								
		売上高	在庫数量	販売価格	取引条件	収益状況	資金繰り	設備操業度	雇用人員	景況
製造業	食料品	↓	→	→	→	→	→	→	→	↓
	繊維・同製品	↓	↑	→	→	↓	→	↓	↓	↓
	木材・木製品	↓	→	→	→	↓	→	↓	→	↓
	印刷	↑	↑	→	→	→	→	↑	→	→
	窯業・土石製品	↓	→	→	→	→	→	→	→	→
	鉄鋼・金属	↓	→	→	→	→	→	→	→	→
	一般機器	→	→	→	→	→	→	→	→	→
	電気機器	↓	→	→	↓	↓	→	↓	→	↓
非製造業	卸売業	↓	↓	→	→	→	→	—	→	→
	小売業	→	→	↑	→	→	→	—	→	↓
	商店街	→	—	→	→	→	→	—	→	↓
	サービス業	→	—	→	→	→	→	—	→	→
	建設業	→	—	→	→	→	→	—	→	→
	運輸業	↓	—	→	→	↓	→	—	→	→
D・I		-11	3	9	-6	-16	-5	-5	1	-24

↑ 増加・上昇・好転      → 不変      ↓ 減少・下落・悪化

D・Iとは・・・Diffusion Index (ディフュージョン・インデックス) の略で、企業の業況感や設備、雇用人員の過不足などの判断を指数化したものである。

●前月比D・Iの動きをみると、「取引条件」「設備操業度」を除くすべての値が、改善している。



全国中小企業団体中央会では、ホームページ上で月次景況調査(情報連絡員全国集計)を公開しておりますので、ぜひご覧下さい。

全国中小企業団体中央会ホームページ <http://www.chuokai.or.jp/>